

たかさき

Takasaki City Assembly News

市議会だより

高崎市議会ホームページ

高崎市議会

検索



主な掲載内容

- 第4回定例会の概要…………… 2～3
- 総括質疑・一般質問…………… 4～9
- 委員会審査…………… 11
- 議案等審議結果…………… 12

NO. **276**

2020.10.31

発行 高崎市議会
編集 広報委員会
高崎市高松町35番地1
TEL 027(321)1281

満開に咲くコスモス（鼻高展望花の丘）

令和元年度決算を認定

令和2年第4回定例会は、下記の日程により22日間の会期で開かれました。
本定例会では、令和元年度の一般会計・特別会計の決算認定などの議案19件を原案のとおり可決・認定し、教育委員会委員、高崎市等公平委員会委員、人権擁護委員候補者の人事案件に同意しました。

なお、請願1件は不採択、意見書案3件は可決しました。
また、22人の議員が市政に対し一般質問を行いました。



新町防災体育館(仮称)完成イメージ図

9月11日(金)	議案上程、提案説明、総括質疑 ほか
9月15日(火)、16日(水)、17日(木)	一般質問 ■ (*詳しい内容はP4~9)
9月24日(木)、25日(金)、28日(月)、29日(火)	委員会審査 (*詳しい内容はP11)
10月2日(金)	付託された議案等の委員長報告～ 討論～議決 ほか (*審議結果はP12)

本定例会で可決した主な議案

新町防災体育館(仮称)の建設

老朽化した新町住民体育館の代替施設として、防災機能を備えた新体育館を建設するため、請負契約を締結する。

■ 契約金額 11億8250万円

■ 契約相手方 冬木・井ノ上・カワナベ新町防災体育館(仮称) 建設工事特定建設工事共同企業体

■ 竣工日 令和3年12月15日

■ 建物概要 鉄骨造 地上3階建

延床面積 2892・27㎡

電源保管庫を購入

小・中学校及び特別支援学校で使用するタブレットパソコンを保管するため、電源保管庫を1026台購入する。

■ 契約金額 9064万円

■ 契約相手方 株式会社清水商事

箕郷矢原宿カフェ設置及び管理に関する条例の制定

養蚕住宅を保存するとともに、地域の活性化と観光の振興を目的として箕郷矢原宿カフェを設置するため、条例を制定する。

■ 施行日 令和2年10月10日

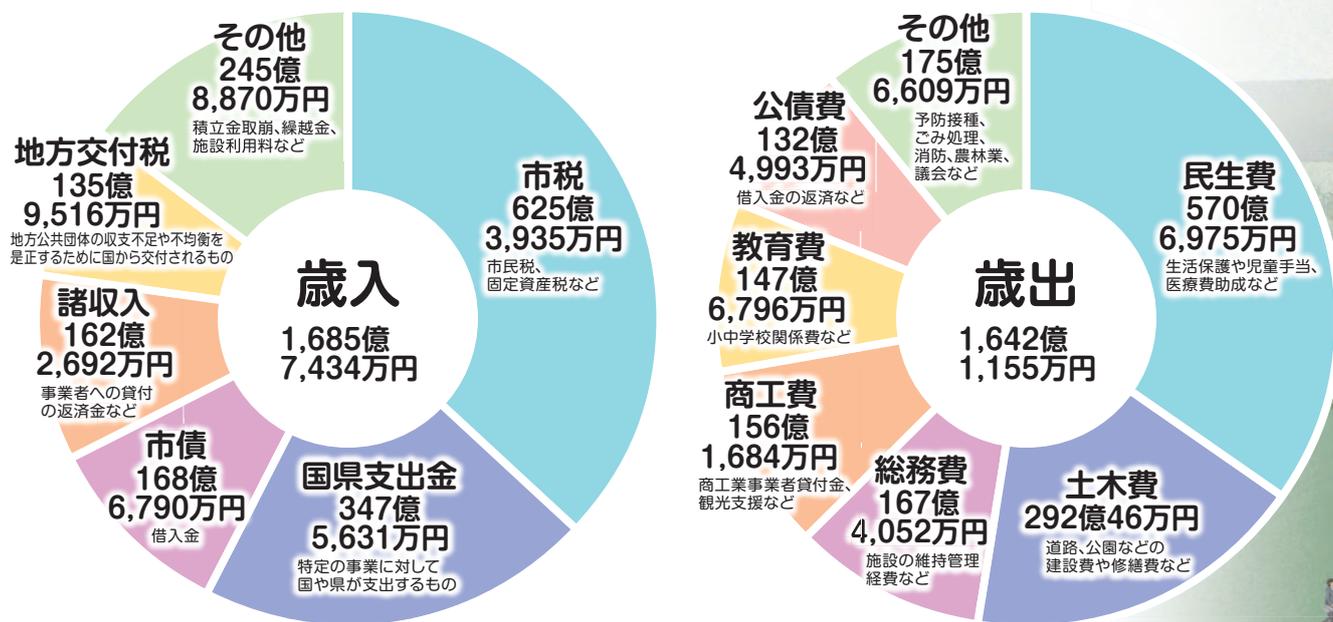


箕郷矢原宿カフェ

決算の概要

一般会計 歳入 1,685億7,434万円 歳出 1,642億1,155万円

歳入歳出の差引額は43億6,279万円で、繰越財源を控除した実質収支額のうち、30億円を財政調整基金に積み立て、残りは翌年度に繰り越しました。



特別会計

歳入	歳出
763億5,975万円	752億3,382万円

企業会計

	収益的収入（歳入）	収益的支出（歳出）
水道事業	72億8,164万円	63億9,188万円
公共下水道事業	89億1,891万円	71億334万円

※千円以下を四捨五入しています。

決算議案への討論

賛成 経済対策と健全な財政運営を評価（新風会）

昨年の台風19号の影響により、法人市民税による収入は減少しているが、市独自の経済対策により歳入全体としては増加している。また、地方交付税や臨時財政対策債などの地方財源についても適切に確保し、30億円を財政調整基金に積み立てたことは評価する。

反対 国民健康保険基金の活用を（日本共産党）

国保基金は、この1年で約1億円減少し48億円余りとなったが、基金からの繰入額と黒字額は同程度であり、黒字額の大半は、基金に積み立てられている。よって、より大胆な繰り入れを行い、医療保険の中で相対的に高い国保税の引き下げを強く要望する。

主な内容

一般会計の総額に歳入歳出それぞれ23億9396万円を増額し、予算の総額を2136億1918万円とする。

令和2年度 一般会計補正予算
歳入歳出 23億9396万円の増額

■放課後児童健全育成事業

1億1840万円
新型コロナウイルス感染症への対応として、小学校休校中における放課後児童クラブの開所に要した費用や、感染症対策用備品等の購入経費。

■果樹園への防犯カメラ設置

467万円
多発している果樹の盗難被害を防止するため、果樹園の周辺に防犯カメラを設置する。

総括質疑

令和元年度決算などに対し、会派の代表者による総括質疑の一部を掲載します。

市民クラブ

荒木 征二 議員

質疑 学校施設の老朽化が進んでいるが、維持補修の達成状況は。

答弁 複数の学校において、外壁の改修や屋上防水工事を実施した。また、学校の環境改善を図るため、トイレの洋式化を重点的に進め、小・中学校の洋式化率は、54・9%となった。教室だけでなく、災害時に避難する体育館についても、トイレの洋式化をさらに進めていく。

質疑 本市の福祉政策の取り組み状況は。

答弁 多様化する福祉ニーズに対応するため、高齢者あんしんセンターや障害者支援SOSセンターなどの本市独自の事業に積極的に取り組んできた。関係機関や地域住民の協力も必要であるため、今後も連携体制の充実に努めたい。



市政を問う

一般質問

質問者 荒木 征二
質問先 市長 吉井 隆一



豊岡新駅(仮称)開業への取り組み
アンダーパスでの事故防止対策
(市民クラブ)

質問 豊岡新駅(仮称)整備事業の概要と今後のスケジュールは。

答弁 新駅は、信越本線で運行している最大6両編成の車両に対応した駅を想定している。また、駅前広場は、一般車乗降場のほか、新駅を拠点に自動車から鉄道へ乗り換えるためのパークアンドライド駐車場などを整備する計画である。今後は、駅周辺のさまざまなまちづくりに関する条件を整理し、新駅の早期実現に向け、引き続きJR東日本と協議していく。



ごみ行政の取り組み

樋口 哲郎
(新風会)

質問 高浜クリーンセンター建設事業の進捗状況と吉井クリーンセンターの運営管理は。

答弁 現在の進捗状況は、プラント設備工事および各種機器の配置計画や建設工事全体の調整を進めており、



三井 暢秀
(市民クラブ)

質問 大雨時のアンダーパスにおける具体的な取り組みは。

答弁 大雨の状況や気象情報などから冠水が予想される場合は、2人以上の職員がアンダーパスの監視を行い、危険と判断した場合は、バリエードを設置している。事故防止などの観点から警察と連携し、交通規制を実施する場合もある。車両の進入を防ぐことが市民の生命を守るために必要であることから、警戒態勢を継続し、事故の防止に努めたい。



公共交通の在り方

荒木 征二
(市民クラブ)

質問 9月1日に開始した高齢者ごみ出しSOSの概要と登録世帯数は。

答弁 委託事業者が週1回利用者宅を訪問し、あいさつと声掛けによる安否確認を行い、無料でごみを収集

質問 バス利用の環境整備として、交通系ICカードを導入する予定は。

答弁 民間バス事業者では、すでに1社が導入し、他の業者も導入を検討していると聞いている。民間の路線バスは、距離によって金額が変動する運賃形態であるため、ICカードの効果が大きいと考えられる。一方で、ぐるりんなどのコミュニティバスは均一運賃であり、高齢者の利用が多いことから、ICカードの導入は慎重に状況を見極めたい。

質問 公共交通は都市計画

と親和性が高いため、所管を現在の市民部から都市整備部に変える考えは。





コロナ禍におけるDV対策
三島久美子
(無所属)

質問 本市の配偶者暴力相談支援センターと関係機関との連携は。また、情報共有のシステム化は。

答弁 児童虐待とDVの両方が疑われる場合は、支援センターと子ども救済センターの職員が面談し、DV被害者と子どもを一緒に保護できない場合に、児童相談所と連携している。情報共有のシステム化は、高崎市子どもを守る地域協議会が児童虐待とDVの早期発見などに機能しているため、現時点では必要ないと考え



コロナ禍のラジオ体操による健康づくり
谷川留美子
(無所属)

質問 コロナ禍の健康づくりにラジオ体操は有効だと思いが、本市の取り組みは。

答弁 市全体でのラジオ体操の実施はないが、高齢者あんしんセンターの介護予防教室などに専門職を派遣し、介護予防の講話や運動を実施している。また、自宅でできる運動やコロナ禍での健康づくりの必要性を

している。今後も関係機関と連携を図り支援していく。

質問 感染防止に取り組んでいる飲食店に対して、助成制度を創設するべきと考えるが、本市の考えは。

答弁 本市では、飲食店衛生向上リニューアル特別助成事業を実施するなど、市内経済の下支えと循環に力点を置き、活力を取り戻すことが重要であると認識している。飲食店の支援については、感染状況を注視し、引き続き研究していく。



質問 コロナ禍の健康づくりの活用

答弁 背伸ばしベンチや平

均台などを10カ所に設けており、地域要望や公園の規模などを総合的に勘案し、設置している。



災害対策
市営住宅の連帯保証人制度
新保克佳
(公明党)

質問 分散避難の一つに車中避難があるが、避難場所として公有施設の指定と民間との協定を行う考えは。

答弁 車中避難は、エコノミークラス症候群などのリスクを考慮すると推奨できない避難方法ではないが、感染を心配する人や避難所での3密を避ける手段として選択肢の一つになると考えている。まずは、災害リスクのない場所に立地する公

吉井中央公園(仮称)の整備を進めており、今後も防災関連部署などと連携を図り、研究したい。



有施設の駐車場を中心に、選定に向けて準備を進めた

質問 連帯保証人制度を見直す考えは。また、家賃債



新型コロナウイルス対策
伊藤敦博
(日本共産党)

質問 本市のPCR検査などの検査体制は。また、PCRセンターの開設計画は。

答弁 本市には、協力医療機関が開設する帰国者・接触者外来が5カ所あり、このほかに検体採取を行う医療機関が約130カ所に増えた。さらに、保険適用となる民間の検査が拡充され、検査体制の強化が図られた。このため、検査が必要な人は、より迅速かつ円滑に検査を受けられるため、当面PCRセンターの開設は不要と考



エコノミークラス症候群の予防運動

と考えている。今後は、

務保証業者登録制度を導入する方針は。

答弁 連帯保証人は、家賃を滞納した場合や緊急時に入居者と連絡が取れない場合などに必要であると考えられる。しかし、連帯保証人の代わりに家賃債務保証業者登録制度を活用している自治体もあることから、同制度について、今後十分な調査と研究を行う必要があると考えている。





群馬地域における防災と新たな開発 群馬地域における文化財の保存と活用

青木 和也
(新風会)

質問 西毛広域幹線道路沿線の調整区域における規制緩和の概要は。また、開発に関する相談や民間開発事業の雨水対策への指導は。

答弁 当該区域に指定した約57ヘクタールでは、戸建ての分譲住宅や共同住宅、大型店舗などの開発が可能となり、複数の事業者から複合型商業施設などの問い合わせや相談が寄せられている。本市では、開発区域面積が千平方メートル以上の場合、時間雨量62ミリメートルの雨水が排水できる

よう開発事業者に求めている。また、透水性舗装での施工や浸透升による地下浸透を依頼するなど雨水排水の抑制にも取り組んでいる。

質問 かみつけの里博物館の入館者数の推移は。

答弁 平成10年度から27年度の年平均入館者数は2万人台で推移し、28年度からの3年間では、年平均約4万人であった。また、令和元年度には、前年度を1万人以上上回る過去最高の約5万4千人が来館した。



eスポーツ

中島 輝男
(市民クラブ)

質問 法改正により、規制対象物の拡大や業者への直接罰など、規制強化がなされたが、本市の対応は。

答弁 改正により、多くの一般住宅も対象となるため、広報高崎などにより広く周知を図っていく。また、解体現場などへの現在の立ち入り件数は10件程度だが、改正後は5〜20倍になると

推計されている。今後、効果的かつ効率的な立ち入り検査を行うため、国による講習会などに積極的に職員を参加させ、人材育成や施工技術の確保を図っていく。

質問 高崎アリーナへの大会誘致など、eスポーツの推進に力を入れる方針は。

答弁 県では、eスポーツの推進として新しい部署を



設置し、Gメッセ群馬でeスポーツ大会を開催するとの公表もあった。そのため、本市独自の取り組みを進めるよりも、本市への誘客や



コロナ禍の図書館

白石 隆夫
(新風会)

質問 中央図書館のコロナ禍による臨時休館前後の利用状況は。また、昨年と比べてどのように変化したか。

答弁 中央図書館の来館者数は、休館前の1月から3月までの間、昨年の同時期と比べ約3%減少した。また、再開直後の5月16日から6月末までは、約42%の減少だったが、7月から8月までは約27%の減少にとどまり、回復傾向にあると

活性化につながるよう協力することで、eスポーツの推進の後押しができるかと考えている。

質問 学校図書館の感染予防策と現在の利用状況は。

答弁 6月の学校再開以降、学年や学級ごとに図書館を



利用できる時間を指定するなど、密集を避け、感染症予防を行いながら運営している。現在は、コロナ禍前と同様の利用とはいえないが、図書館での調べ学習やボランティアによる読み聞かせなどを再開している。一部の学校では、感染症対策を行った上で、**ピブリオバトル**やブックトークなど、読書への興味や関心を高める活動も行われている。



東京人口減少時代における移住受け入れ 清水 明夫 (新風会)

質問 本市が講じている移住促進施策は。

答弁 現在、移住促進資金利子補給金制度などの本市独自の施策を実施している。また、安心感のある暮らしを実現するため、出向く福祉の観点から事業を推進している。今後は、現行の施策を引き続き推進するとともに、本市に移住を検討している人に対し、移住に係る支援策を広く伝えられるよう効果的な情報発信に取り組みたい。

質問 住居確保給付金や生

質問 活福祉資金貸付制度の概要と支給状況は。

答弁 住居確保給付金は、離職により住居を喪失した人などを対象に、一定期間、家賃相当額を支給する制度で、昨年度の支給が23件に対し、本年度は8月末で283件と増加した。また、休業や失業などで収入が減少した人を対象に、社会福祉協議会が実施する緊急小口資金は4億4536万円、総合支援資金は8億1516万円の申請があった。



感染症対策を行う学校図書館



eスポーツ

electronic sportsの略語で、コンピューターゲームやビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。

ピブリオバトル

順番におすすめの本を紹介した後、一番読みたい本を投票により決するプレゼンテーション対決。



伝統芸能保存活動支援

丸山 芳典
(新風会)

質問 新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、伝承を中断してしまう団体をなくすための見解は。

答弁 伝統芸能を担う各地域の保存会の活動が途絶えないように、継承活動の中心となる地域の人々の思いや力を結集する必要がある。加えて、市が側面から支援を行い、地域の財産を守り育てていくことが大変重要であると考えている。

質問 伝統芸能は、地域の独自性があり、宝であると考えてるが、本市の支援策は。

答弁 本市では、長い歴史と伝統の中で培われてきた地域特有の伝統芸能を損なうことのないよう、積極的に支援している。支援内容には、太鼓などの備品修繕費の補助や継承する際に用いる映像を記録する事業があり、各団体は、この支援を活用している。今後も、ホームページなどを通じて伝統芸能に関する情報を発信するとともに、将来にわたって伝統芸能が継承されるよう支援していく。



誰一人取り残さない子ども達の多様な学び

中村 さとみ
(公明党)

質問 中学生の通級指導教室の拡充と指導の充実は。

答弁 堤ヶ岡に中学生の通級指導教室が設置され、指導箇所が2カ所に増えた。中央教室では、通級指導の中核として、さまざまな研修などを実施しており、各教室でも指導教員のスキルアップを図る研修や在籍校との情報共有を行い、児童・

生徒の実態に応じた、きめ細かな指導の充実に努めるとともに、状況を注視したいと考えている。

質問 本市のフリースクールに通う児童への支援は。

答弁 適応指導教室を市内8カ所に設置し、ニーズに応じた不登校児童・生徒への支援に努めている。県では、いじめ対策・不登校支



小学6年生の授業風景

援等総合推進事業を活用し、適応指導教室の機能強化に向けた補助制度を設けているが、フリースクールへの補助制度はなく、本市も同様の対応となっている。今後は、フリースクールに通う児童・生徒の支援についても研究したい。



小・中学校における授業の現状

片貝 喜一郎
(新風会)

質問 小学6年生と中学3年生への授業の対応は。

答弁 学校の最終学年に当たるため、進路の選択やそのための準備を行う大切な時期と考えている。各学校では、確実に学習内容を終わらせるよう計画的に授業を進めている。また、受験を控えた中学3年生に対しては、進路説明会の実施や進路だよりの配布など、受験に関する情報提供を積極的に行

うとともに、保護者や生徒との面談を行うなど、寄り添った対応に努めている。

即した新しい情報収集や共有の方法も研究していく。



コロナ禍における児童・生徒の対応

堀口 順
(市民クラブ)

質問 内申点の評価基準は公正公平が求められるが、公表すべきと考えるが、本市の現状と内申点の在り方は。

答弁 各中学校では、評価検討委員会を設け、受験時の内申点や成績が公正かつ適正に評価されているか、細心の注意を払い確認している。また、市教育委員会でも、提出された成績一覧表の確認を行っている。

質問 コロナ禍における本年度後期の財政運営は。また、今後の財政面の対応は。

答弁 企業業績の悪化など

により、市民税などの税収や国からの交付金などの減収が予想される。市税収入などの今後の見通しは、感染症拡大の動向により変動するため、試算は難しいが、景気悪化の長期化が見込まれることから、さらなる財源確保が重要だと考える。また、予算の組み替えなどを行い、感染症対策や市内経済への支援を進めている。今後も、事業費の削減や財政調整基金の適切な管理を行い、対策に取り組みたい。



●通級指導教室

在籍する小・中学校で学習しながら、決められた時間に通って、人との関わり方や集団のルールなどの指導を受ける教室。小・中学生だけでなく、幼児も通うことができる。

●適応指導教室

不登校になった小・中学生が、再び登校できるように手助けをする教室。



国民健康保険税の軽減

よだ よしあき
依田好明
(日本共産党)

質問 コロナ禍で最も影響を受けている中小企業や子育て世帯の負担を軽減するため、国民健康保険基金を活用し、国民健康保険税を引き下げる考えは。

答弁 被保険者の収入減少や受診を控える動きがあり、県の算定内容を注視する必要がある。本市では、これまで被保険者の負担が増えないように基金を活用して現行税率を維持しており、令和3年度はこれまで以上の基金の活用が予想されるため、現状では国保税の引

き下げは難しいと考える。

質問 滞納者に対し生活再建を優先した対応は。また、差し押さえに当たり、最低生活費を保障する考えは。

答弁 滞納者自身が現在の生活状況を認識し、市もその実態を把握できるように収支状況等報告書を提出してもらい、滞納解消に向けて柔軟に対応している。また、差し押さえによって生活が困窮しないよう、今後も生活保障費を控除するなど、丁寧な対応を図っていく。



新しい生活様式における公共施設の在り方と今後

たかはし みなみ
高橋美奈雄
(市民クラブ)

質問 地区公民館にWiFi設備を導入し、講座などをいつでも開催できるような環境を構築する考えは。

答弁 公民館のオンライン講座の開催は、市民に学びの機会をつくるため、大事な課題であると考えている。また、講座の配信についても、研究課題として取り組んでおり、新しい生活様式

の中で、学習機会を提供できるように検討したい。

質問 市内の児童・生徒の思い出づくりに、高崎芸術劇場を利用する考えは。

答弁 芸術劇場は、芸術性が高い演目の誘致と、にぎわいの創出の寄与を目的として、有名アーティストを招いたコンサートや世界レベルの舞台芸術など、広範

囲からの来場が見込める事業に利用されている。そのため、日程は限られてしまうが、予定が合えば、市内の児童・生徒の思い出づく



コロナ感染者への偏見を防ぐ取り組み

さかせがわ よしき
逆瀬川義久
(公明党)

質問 新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見を防ぐ、本市の取り組みは。

答弁 ホームページでの啓発をはじめ、人権侵害防止啓発チラシ「STOP! コロナ差別」を作成し、人権プラザ、公民館、幼稚園、小・中学校など178カ所に配布し、注意喚起を図った。各学校では、道徳を中心とした人権教育などを通じて、誹謗中傷の防止に取

りの場として利用することも可能である。今後も、市民に親しまれる劇場となるよう取り組みんでいく。



り組んでいる。教育委員会では、現在作成中のポスターを通じて、児童・生徒の温かな人間関係づくりに取り組む学校を支援していく。

質問 高浜クリーンセンターで土曜日ごみを受け入れる考えは。

答弁 ごみの質や量の変化など、一般廃棄物をめぐる社会状況の変化を踏まえるとともに、地域住民の意見も取り入れながら検討したい。また、他市の状況なども参考に、関係部署と費用対効果を含めて協議し、効果的かつ効果的な受け入れを研究していく。



配布した差別防止チラシ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、議場の議長席、演壇、発言席に飛沫防止パネルを設置しました。



請願の審議結果

提出された下記の請願を審議した結果、賛成少数で不採択となりました。

- 日本政府に核兵器禁止条約への賛同と推進を求める意見書の採択について

同意した人事案件

- 教育委員会委員 じんぐう 神宮 よしかず 嘉一 氏
- 高崎市等公平委員会委員 よこた 横田 ていいち 貞一 氏
- 人権擁護委員候補者 こしば 小柴 たかこ 孝子 氏

可決した意見書

下記の意見書を国の関係機関などに提出しました。
詳しい内容は、市議会ホームページをご覧ください。

- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
- 精神障害者の交通運賃割引制度の適用に関する意見書
- 防災・減災、国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書



さらに詳しい内容は会議録で

市議会ホームページ（会議録検索）や以下の施設で、どなたでもご覧いただくことができます。今回の本会議については11月下旬に公開予定です。

- 市民情報センター（市役所1階）
- 高崎市立図書館（本館及び地区館）
- 倉淵公民館図書室



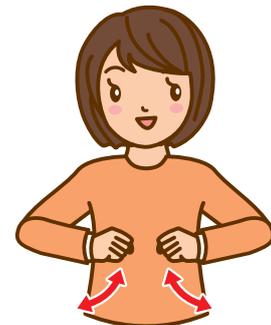
手話で話そう!

議員提案により、平成29年3月に手話言語条例が制定されました。簡単な手話を紹介します。



久しぶりですね。

指の背をつけ合わせ、両手を左右に引き離す



元気ですか。

腕を水平に構え、両手こぶしを交互に前後させる

委員会審査

総務常任委員会

質疑 くらぶち英語村使用料の増収の要因と利用状況は。

答弁 増収の一番の要因は、参加者が増えたことであるが、消費税の引き上げによる負担額の改定も影響している。昨年度の利用状況は、通年コースが24人、短期コースが72人、週末コースが284人であり、すべてのコースにおいて平成30年度よりも参加者が増えた。

質疑 コンプライアンス室で受けた相談件数は。

答弁 令和元年12月18日に設置したコンプライアンス室では、昨年度末までに不当要求行為や審査請求事案への対応など、延べ95件の相談を受けた。

市民経済常任委員会

質疑 社会保障・税番号制度対応顔認証機器を使用する場面は。

答弁 マイナンバーカードを交付する際、顔写真と窓口に来た人が同一か、目視での判断が難しい場合に使用する。今まで使



マイナンバーカード

用したことはないが、今後も適切な交付に努めていく。

質疑 お店ぐるりんタクシーの利用状況は。

答弁 令和元年6月1日から運行を開始し、令和2年3月31日までに約3万人が利用した。

環境施設建設特別委員会

質疑 高浜クリーンセンター建設事業における隣接施設解体工事費の内容は。

答弁 新しい焼却施設は、現在の高浜クリーンセンターの東側隣接地に整備するため、その建設地にあった長寿センターや野球場などを解体した工事費である。

質疑 新しい焼却施設完成後の渋滞対策は。

答弁 計量台の数を増やし、ごみ収集車両と一般車両を分けることで、計量時間の短縮を図る。また、混雑時に可燃・不燃・資源ごみを1カ所で受け入れる一般車両専用の場所を整備し、搬入の利便性と渋滞解消を図る。

各常任委員会および各特別委員会において、付託された議案などを審査しました。

質疑・答弁の一部を掲載します。

教育福祉常任委員会

質疑 手話奉仕員養成研修事業委託料の内容は。

答弁 初心者向けの入門課程と入門課程を修了した人を対象とする基礎課程がある。平成30年度から新たに実施した体験教室は、令和元年度に9回実施し、69人が参加した。

質疑 子育てSOSサービス事業の成果は。

答弁 従前の産後ママヘルパーの事業内容を使えるようにしたこともあり、利用件数は、年間650件から2,500件に増えた。利用しやすいように改善したことで、保護者から一定の評価を受けている。

建設水道常任委員会

質疑 駅ホームバリアフリー工事補助金による工事場所と内容は。

答弁 JR新町駅と倉賀野駅で視覚障害者の転落防止を図るため、内方線付き点字ブロックを敷設した。また、上信電鉄西吉井駅でホームと駅前広場の段差を解消するため、スロープを設置した。

質疑 公園遊器具改修工事の件数は。

答弁 公園の遊具を点検し、その結果に基づき、ブランコやロッキング遊具など22件の改修を行った。

都市集客施設整備特別委員会

質疑 都市集客施設等建設基金繰入金の減額分の充当先は。

答弁 現在進めている、栄町の再開発事業において整備する予定である、子ども図書館をはじめとした公共施設の建設に充当する予定である。



再開発事業のイメージ図

